

人口構造が変化し、1970年頃までは20%程度だった50歳以上の割合が急激に増加し、2060年には50歳以上は60%（65歳以上は40%）程度になると試算されている。超高齢社会である。人生100年時代を迎え、高い医療水準と医療技術で「治す医療」から高い幸福度やQOLを実現する「癒す医療」が求められている。それをいち早く見越した欧米では、この理念を含む統合医療が盛んに行われるようになってきている。

わが国は国民皆保険制度に守られて「治す医療」は高い水準に保たれているが、そのためのEBM（evidence-based medicine）と対極にあり、根拠には乏しいかもしれないが、人間の価値観や人生観、死生観まで考えた「癒す医療」こそ今後必要とされる医療ではないだろうか？

私が約40年前に東京女子医科大学腎臓病総合

医療センター内科（第4内科）に入局して以来、取り組んできたCKDは現在も続く課題である。CKD根治を目指そうなどという大それた望みから統合医療に手をつけたが、根治できなくても幸せな人生を目一杯送り、悔いのない終末を迎えられればという思いに変化してきている。そのために必要な統合医療の実践には、近代西洋医学に加えて、さまざまな補完代替医療の知識が求められるが、日本には統合医療/補完代替医療を総合的に学べる機会は乏しい。

本号はCKD患者に最高の人生を送っていただくための試金石とすべく現時点で最高の執筆者に依頼し完成に至った。神奈川歯科大学大学院統合医療学講座も含め、未来の医療に微力ながら貢献できればと願ってやまない。

（川嶋 朗）

2022年（Vol. 38）特集のご案内

- No.① 透析患者の心臓病—診療の最前線を学ぼう
- No.② 腎性貧血治療の課題と対策—HIF-PH阻害薬、ESA、鉄剤をめぐる
- No.③ 多職種連携による透析医療
- No.④ 便秘と慢性腎臓病・透析医療
- No.⑤ 透析療法における各種モニタリングのFront line

- No.⑥ CKD診療における漢方と補完代替療法
- No. 7 バスキュラーアクセスの作製・管理・修復の基本方針〔増刊号〕
- No. 8 もっと知ろう 透析室での腎移植問題—腎移植と透析の移行期

（既刊は○）

臨床透析® Vol.38 No.6

© 2022年6月10日発行
定価：2,860円
（本体2,600円＋税10%）

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2022, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541